

六月廿八日 学士会通俗學術講談会委員

書記官室御中

学士会通俗學術講談会

七月十二日ヨリ同十九日マテ毎日午後七時ヨリ神田区一ツ橋外  
帝国大学講義室ニ於テ開会ス

演題及日割

十二日

学士会通俗學術講談会開会ノ趣旨 文学博士 加藤弘之

商法ニ就テ 法学士 朝倉外茂鉄

演題未定 理学博士 寺尾 壽

十三日

政治家ノ法律思想 法学士 内田定槌

人ノ感覚ヲ測定スル法 文学士 井上圓了

造船学 工学士 三好晋六郎

十四日

法律外ノ法律 法学士 合川正道

菓子ノ説 医学士 坪井次郎

写真ノ手続ヲ述ベ併セテ其学理ヲ説ク 理学士 石川 巖

十五日

梅毒ニ就テ 医学士 岡田和一郎

天気図ニ就テ 理学士 中村精男

第三回内国勸業博覧会機械館 工学士 眞野文二

十六日

病理学ノ沿革ヲ説テ微菌学ニ及ブ 医学士 田代義徳

260 学士会通俗學術講談会開催に付揭示案

〔明治二十三年六月二十八日〕

明治二十三年六月二十八日

総長 (加藤弘之) (花押) 書記 (五十嵐恭次)

書記官 (和田垣謙三)

学士会通俗學術講談会聴講之儀ニ付揭示案

来ル七月十二日ヨリ同十九日マテ毎日午後七時ヨリ帝国大学講

義室ニ於テ学士会通俗學術講談会相開キ候 (抹消)ニ付帝国大学

学生ニ限り制帽服用用ノモノハ無料聴講ヲ許ス旨同会委員ヨリ

申出候間此旨揭示ス

明治二十三年六月

拝啓別紙之通り講談会相開キ候ニ付テハ大学々生ニ限り正服正  
帽着用ノモノニハ無料入場聴講相許シ候間其旨揭示場へ御揭示  
有之度此段及御依頼候也

貨幣談

文学士 阪谷芳郎

遺伝ノ説

理学士 石川千代松

十七日

法典公布ニ就テ

法学士 清水市太郎

血ノ出ル時

医学士 桂 秀馬

電気燈

工学士 藤岡市助

十八日

婚姻ノ話

法学士 平田讓衛

演題未定

医学士 片山國嘉

化学ニ関スル日本ノ工業

ドクトル 生田益雄

十九日

議事規則ニ就テ

法学士 有賀長文

東京工業学校ヨリ第三回内国勸業  
博覧会へ出品セル染物標本ノ解説

工学博士 高松豊吉

演題未定

医学博士 緒方正規

〔検印録〕 明治二十二年至明治二十三年、㊦ F 4